

- ① 会社のビジョン「温かさをつくること」、理念「モノを思う、ヒトを思う。モノ、ヒト、社会を温める存在」→理由は？

スリーハイではヒーターを作っている。ヒーターを作り、そして販売していく上で、その部品を作る業者さんやヒーターを買ってくれるお客様など、多くのヒトが関わりあっている。ヒトがつながりを作っている。つまり関わる人すべてがステークホルダーであり、社会である。また、スリーハイは東山田に籍を置いている。東山田は住宅と工場が混ざっている地域である。そんな東山田で住民の方々と仲良くしていきたいし、していくためにはその地域で企業ができることを考えていく必要がある。これらすべてを踏まえて、モノだけでなく、ヒト、そして社会も温められる(ヒーターを作っている会社ということ)で企業を目指していきたいということからこのような理念、ビジョンが掲げられた。

- ② スリーハイさんにとってCSRとは？

モノをつくるだけでなく、地域社会の一員として必要とされるときに役立つ活動をする。近年全自動の技術が発達していることにより、以前は手作りを売りにしていたが、他国と製品の差別化がしにくくなった。子どもたちが手作りの製品を知らないまま大人になってしまったら、製造業の良さをすることもなく、皆が製造業に行かなくなってしまう。子どもたちに製造業の良さを伝えたいという秘めた思いがCSRに繋がっている。(最初はオープンファクトリーから始めたそうです。)

また、CSRは社員教育でもある。地域の人と触れ合い無料で教育してもらっている。だからこそそんな地域の方々に恩返しをするべきであり、活動を行っている。

- ③ 具体的にはどんなCSR活動をしているのか。

- ・まち探検(工場見学など)

子どもたち100人以上が参加しており、最近では大人向けのものも行われている。(住民と工場の共存を掲げているということもあり、子供たちに自分の住んでいる身近なところがかっこいいことが行われているところを見せてあげたい!自分のまちのよさを知ってもらいたい!)

- ・オープンファクトリー

自社製品を使ったチョコフォンデュやプラバンを行っている。

- ・まちづくり

看板、サイン、掲示物、花壇など

④ このような活動から社員の変化は？

すぐにはわからない。

しかし、CSRを行っていく上で、スリーハイという会社を伝えていく必要があるが、その行為を通して、社員の翻訳力が高まっている。また、地域に出ることで評価をされ、新たなやりがいに繋がったり、新しい顧客を見つけたりできる。やる気やスキルアップにつながるものであると思う。また社内の雰囲気がよくなったりもする。

⑤ やりがいは？

正直上がったり下がったりである。社長と社員のCSRに対する温度の差で雰囲気が悪くなったり対立したりすることもしょっちゅうである。孤独を感じたりもする。しかし、やれることをやりたいし、何かのためにやれることを考えていきたいという思いがいつもある。仲間がいればやりやすい!!!!

⑥ 就活生向けに、求める人材像は？

なんとかする力を持っている人。今後の人生で計画通りいかないことが当たり前になってくるが、なんとかする力があればどうにかできる。大学生の間にその力を身につけよう。

メモ

CSRは積み重ねなので早いうちに始めた方が良い。信念をもってやり続けることが大切である。

CSR横浜

YOKOHAMA Corporate Social Responsibility

<https://www.csr-yokohama.net>